

# きずな

18号

平成22年12月15日発行

## 今月の顔

「はじめまして  
廣田孝子です。  
私は、耳が聞こえませんが、口話での会話は出



来ますので、どんな方ともすぐに仲良くなれます。小さい頃から音楽が大好きで、いろいろな歌にはまっています。」

彼女は、とても頑張り屋さんです。千葉国体の時に選手にプレゼントしたチーバくんの折り紙は、彼女の発案、彼女のリードで実現しました。聴覚障害の方は、表情の硬い方が多いのですが、彼女の笑顔はとても印象的です。仕事が終わると、まちサポに「ただいま」と立ち寄ってくれ、いろいろとお手伝いしてくれています。どんなことにも真剣に取り組む姿勢には感心させられます。彼女が来ると、まちサポが明るくなり、まちサポのアイドル的存在です。

### まちづくり未来塾 「大網白里町を知ろう！」第1弾企画 天然ガスの工場見学を実施

大網白里町は、千葉県が誇る天然ガスの宝庫なのに、どうやって天然ガスを採掘しているのか知らずに、町ガスのお世話になっていく方も多いのではないのでしょうか？そこで、まちづくり未来塾では天然ガスの工場見学を実施しました。

最初に旭硝子(株)大網白里鉱業所を見学しました。硝子とガス？と思いがちですが、板ガラスの原料になるソーダ灰を製造するのに自前の天然ガスが必要だったとのこと。千葉県が全国で3位の生産量であること、また水溶性の天然ガスかん水にはヨウ素が含まれており、このヨウ素の生産量は千葉県が国内1位だと説明され、大網の魅力を一つ発見しました。続いて、そのヨウ素を生産している伊勢化学工業(株)の白里工場を見学しました。このヨウ素ですが、うがい薬やレントゲンの造影剤・合成化学の触媒などに使われ、日本の生産量は世界の第2位だそうです。そしてそのほとんどが千葉県で生産しているのです。この町のみんなにこの事実を知って欲しいと思いました。



半日のバス見学だったのですが、とても貴重な体験でした。「大網白里町を知ろう！」第2弾はどこにいくのでしょうか。今から楽しみます。

### 大網白里町長選 立ち合い演説会 開催

平成22年12月12日(日)



「演説会は大切、町がやったっていいくらいだよ」と励まして下さった方、開催のための費用にと、ご寄付を寄せて下さった方など、たくさんの方の応援をいただきました。ありがとうございました。

大網白里町の新しいリーダーを決める大事な選挙を目前に控えた12月、町保健文化センターで行いました。当日は、四百人近くの方が早々に詰めかけ、演説に聴き入りしました。この立ち合い演説会を実行したのは、まちサポの有志。四人の方が表明している今回の選挙、表明されたお一人お一人の意気込みを生の声でお聞きし、住民として、責任を持って選挙に臨みたいと計画しました。

## 第6回

# 戦争かたりべのつどい

戦争体験語り部の会

12月8日はどんな日か知っていますか？ご年配の方はパッとおわかりになると思います。日本がハワイの真珠湾を攻撃し、第2次世界大戦が始まった、開戦の日です。「戦争体験語り部の会」では戦争を語る上で、どうしても忘れてはならない日が年に3回（3月10日・8月6日・12月8日）あり、この日にかたりべのつどいを開くことにしました。

今年は、都合で9日の開催となりましたが、50人近い方々が、実際に軍人として中国に行かれた方のお話、子どもの時に親友が目の前で機銃掃射に撃たれて亡くなった話に、耳を傾けてくださいました。

子ども達には難しい話ですが、その心のどこかに戦争の悲惨さが残ってくれることを祈って、これからも活動していきます。

きずなの14・15合併号でもお知らせしましたが、内閣府から活動に対して表彰されました。この会は、山武市と大網白里町が合同で活動していますので、山武市で表彰式があり、賞状と楯をみんなまで頂いてきました。



ました。

まず畑に行き、少し残しておいた「こんにやく玉」を掘りました。土の中にあるこんにやく玉を見るのは初めての方が数名おりました。参加者の中に料理教室の先生がいらしたので、その方にお任せして

こんにやく作りの始まりです。

こんにやく玉の皮をむき水の中ですりおろし沈殿させます。塊になったら上澄みを捨て、かき混ぜながらソーダーを少々加えると色が変化し別の塊になります。この塊を、沸かしておいた大鍋の湯の中に、お玉ですくい茹であげ冷水で冷まします。プレーン・柚味・青のり味の3種類を作りました。できたての味はどれも絶品でした。

ご指導して頂いた「葵の森、あっとほーむ大網」のHさんに感謝します。

## 第一回 大網白里福祉ねごとまつりを開催して

九十九里福祉ネット 代表 林 正清子

「知ろう、つながろう、活かし合おう」をメインテーマに、障害の種別を超えたネットワークづくり話し合いを重ねて、三年目を迎え、大網白里を中心に福祉施設・福祉団体・地域貢献活動団体からさらに輪を広げ介護事業団体・個人で活躍されている方達にも声をかけさせて頂き、目標の一つ、福祉まつりを開催いたしました。十一月二十三日当日は、大荒れの天気にも負けず予想を上回る二百名以上の参加にスタッフ一同感激、舞台の途中で、天からのプレゼントの虹を、皆様と見られて楽しむことが出来ました。

参加団体は、ワーナーホーム・マリンハウス・聴覚障害者協会・ケアサロンよみ等など紹介しきれませんが、皆様の出来る事から、講演合唱体験発表歌踊り昼食喫茶福祉ネットからゆめ半島選手表彰式等全て手作りの皆様と最後まで一体となれた福祉まつりを作ることが出来ました。福社畑は超多忙で国の政策にも絶えず揺り動かされていきますが、それでもあきらめない精神とハンデを超えて輝いている人達がたくましく立ち上がり、地域にその人をより多くの方々に知って頂き、枠を超えて新しい形では進めませんが、まっすぐに光り輝いておられます。絶えず世の中にこの身を預けましょう。感謝。

## 「さしみこんにやく」

てんまつ  
手作り体験学習顛末記

中村農園主催



前々から、やろうと計画していたこんにやく作りの決心をかためたのは、11月に入ってから数日を過ぎた頃でした。いそいでチラシ作りを始めました。パソコンで作ろうと思いましたが、私が作ると時間がかかるとも考え、手作りとしました。

作業日は12月5日・日曜日とし、これに写真3枚を貼り付け、要旨を書き込んだA3のチラシを作成。事前に申し込み頂いた方は2名でしたが、「類は友を呼ぶ」で、当日は2名を引き連れて、5名の参加になり

# メッセー

まちサポは  
12月29日から  
1月5日まで  
お休みします。



昨年  
の  
まち  
サポ  
祭  
り  
の  
様  
子

12月24～26日さんさん通りに大網高校恒例の笑店が開店します。まちサポ前ではそれに併せて「まちサポ祭り」を行います。24日には、カバパンのお店が、25日にはバザーや手作り品の販売、綿菓子やさん、コーヒーサロン、「つまみ食いウォーク」など、イベントがたくさん。クリスマスの一日をさんさん通りで楽しく過ごしませんか？

## 「安全で安心な地域づくりめざして！」 東金警察署管内地区防犯パトロール隊連絡協議会

本協議会は東金警察署のご指導、東金警察署管内緊急治安対策会議のご支援を受け、平成18年2月14日に「安全で安心な地域を築くこと」を目的に、パトロール隊の連携を図るために設立されました。

設立時パトロール隊の数は22団体（東金：9、大網：7、九十九里：6）でしたが、地域住民の意識向上に伴い今年10月現在では56団体に増加し、犯罪の抑制に努めています。

大網白里町内では、16団体（山辺：2、瑞穂：4、大網：6、増穂：3、白里：1）が児童の見守りを始め管轄地域内のパトロール、今年度開設された「移動交番」への協力等地域に合った活動を展開しております。

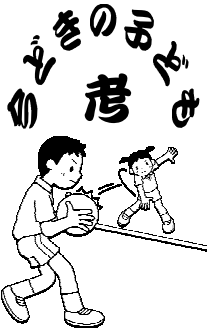
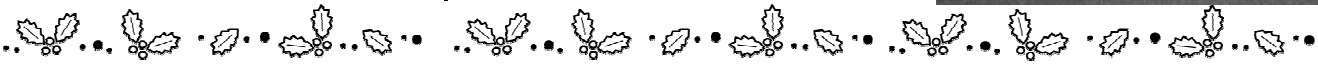
東金警察署からの防犯情報によると、自転車盗・車上ねらい・オートバイ盗・自動車盗・空き巣などが増加中、また千葉県内のひったくり、自動車盗（大網では9月末で24件発生）は全国ワースト1という状況下にあります。

自分達の地域は、自分達で守る！地域が一体となり、犯罪のない「安全で安心な地域づくり」を目指しましょう。



### 来月の行事予定

- 1/15 まちサポ交流サロン
- 1/22 上総堀体験教室(子ども村)
- 1/29 関幸子氏講演と市民活動報告会(保健文化センター)



たくさんの小学校4年生から6年生の男子女子が先日山武の森中央公民館に集まりました。みんな青少年の集い山武地区大会のドッジボールに参加する子です。どの子も元気いっぱいやる気満々で、目がきらきらしています。もちろんなかには、朝早いので、眠そうにしている子もおりましたが。

参加人数237名、チーム数26。予選はリーグ戦方式で各チーム2試合ずつ。決勝は、各リーグ上位2チームのトーナメント戦で行われました。ルールをしっかり把握していてラインを踏まないようにゲームを進めるチーム、ラインのことなんかそっこのけで当てることに一生懸命なチームと

色々です。審判は、大人が行いましたが、子供達のボールをよけきれなくてあたってしまいましたが、みんな子供達は、審判の指示に気持ちよく従っていました。さすがに、決勝に勝ち上がってくるチームは、お昼休みも練習をしていました。仲間で、作戦を立てて、声を出し合い励まし合いながらどの子も楽しそうでした。

当然、試合なので、勝ち負けは、出てきます。悔しがって泣き出す子、その子を励ます子、静かに見守る子、笑わせようとする子とそれぞれです。たくさんの異なった経験をすることで、子供達は、物の大切さ人との交わりの大事さを学んでいくのでしよう。環境の変化で子供たちの体力が落ちていっているといわれますが、山武地区の子どもたちは、元気で生き生きして心配りが出来る子が多いと感じた一日でした。



考察

## 「新しい公共」

まちサポ理事 三澤 清隆

市民ひとり一人の暮らしの中には、「私」だけの問題から自分・個人だけでは解決も調達もできないサービス「公共サービス」、あるいは厳密な意味から「公共サービス」とまでは言い切れないが、個人での解決・他の人に委ねることが困難な「公共的サービス」があります。

何気なく使う『公共』の言葉には、公共サービスおよび公共的サービスの両方を指して、「公共」と言い、ニュアンス的にも隔てなく用いられています。

公共サービス、公共的サービスの多くは基礎自治体の領域に置かれ、何が「公共」であるかは、行政が決定し、これを「公・おおやけ」として行政が担ってきました。

また、私たちはそのことに違和感もなく、当然のこととして社会的に認識してきました。

一方、著しい少子高齢化の進捗と多様な住民ニーズは、福祉行政において、一元的サービスの提供が量的にも質的にも有効に機能しなくなり、その領域にある「公共」は、多元的なボランティア団体・NPO、企業等とともに公共空間の公共的サービスを共有し合う「公共」の普遍化が始まっています。

しかしながら、多くの「みんなの公・おおやけ」領域は、依然として行政にあって、住民参加・参画が進捗しないままの状況になっています。

「市民ボランティア・NPO、企業等」が自らの価値観に基づき、主体的に公共的サービスの領域に参加・参画する「公共」を『新しい公共』と呼び、その領域を『新たな公共空間』で表現し、政府においても周知を図ってきました。

民主党政権・鳩山内閣総理大臣は、第173回「国会」の施政方針演説において、「新しい公共の概念」を次のように述べています。

『「新しい公共」とは、人を支えるという役割を「官」と言われる人たちだけが担うのではなく、教育や子育て、まちづくり、防犯や防災、医療や福祉などに地域でかかわっておられる方々ひとり一人、民間のボランティア、NPO、企業にも参加していただき、それを社会全体として応援しようという新しい価値観です。』

また、文部科学省の「新しい公共」宣言。「新しい公共円卓会議（平成22年6月4日）」において、「新しい公共」とは、「支え合いと活気のある社

会」をつくるための当事者たちの「協働の場」である。そこでは「国民・市民団体や地域組織」、「企業やその他の事業体」、「政府」等が、一定のルールとそれぞれの役割をもって当事者として参加し、協働する。その成果は多様な方法によって社会的に、または市場を通じて経済的に評価されることになる。その舞台を創るためのルール役割を協働して定めることが「新しい公共」を創ることに他ならない。

「新しい公共」と日本の将来ビジョンとして「新しい公共」が創り出す社会は、「支え合いと活気がある」社会である。すべての人に居場所と出番があり、みんなが人に役立つ喜びを大切にする社会であるとともに、その中から、さまざまな新しいサービス市場が興り、活発な経済活動が展開され、その果実が社会に適正に戻ってくることで、人々の生活が潤うという、よい環境の中で発展する社会である。

これから「新しい公共」によって「支え合いと活気のある」社会が実現すれば、ソーシャルキャピタルの高い、つまり、相互信頼が高く社会コストが低い、住民の幸せ度が高いコミュニティが形成されるであろう。さらに、つながりの中で新しい発想による社会のイノベーションが起こり、「新しい成長」が可能になるであろう。（文部科学省・新しい公共円卓会議）

（注）語彙・文脈の解釈

- 1) 「政府」➢市町村・基礎自治体
- 2) みんなが人に役立つ喜び➢官と民、みんながひとに役立つ喜び。
- 3) ソーシャルキャピタル➢人々が持つ「社会的なつながり」や「社会全体の間関係の豊かさ」のこと。ここでは、自治のためのコミュニティを発展するには、ソーシャルキャピタルの善意、仲間意識、相互共感、社会的交流のつながり等が必要だの意で用いられている。（アメリカ・ウエストバージニア州教育長ハニファン氏が1916年、福祉の考え方を述べる際に用いた言葉）。
- 4) イノベーション➢技術革新、新基軸。経済成長の原動力となる生産技術の革新、資源の開発、消費財の導入、特定産業の構造の再組織などきわめて広義な概念を示す。

色々な活動が行われるようになり、まちサポをご利用の方が一段と増えた一年でした。ありがとうございました。来年も、よろしく願いいたします。事務局 鵜澤